

稲作情報 第6号

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

コシヒカリの生育は、6月の高温により平年並に回復してきています。中干しが不十分で、まだ田面が柔らかいほ場は、歩くと足跡が浅く残る程度まで、しっかり干し固めましょう。また、田植えの遅いほ場は、高温になり生育が早いことから、田植え後4週間を目途に中干しを始めましょう。

◇コシヒカリの生育状況（6月11日現在：黒部市生育調査11ほ場平均）

	田植え後 日数	草丈 (cm)	茎数 (本)		葉 齢	葉 色
			株当たり	m ² 当たり		
R6年	28日	33.2	14.4	288	8.0	4.2
平 年*		33.3	14.5	288	7.7	4.2

※平年 (H26~R5 平均)

1. 中干し後の水管理

○中干し後から幼穂形成期*まで ※幼穂長が2mmの頃
「**間断かん水**」を行い、根に水分と酸素を十分に補給し、稲体の活力維持に努めましょう。長期のため水は厳禁です。

◆「**間断かん水**」の目安 ※湛水時はヒタヒタ水で。

乾きやすいほ場 ⇒ 1日湛水、2~3日落水。

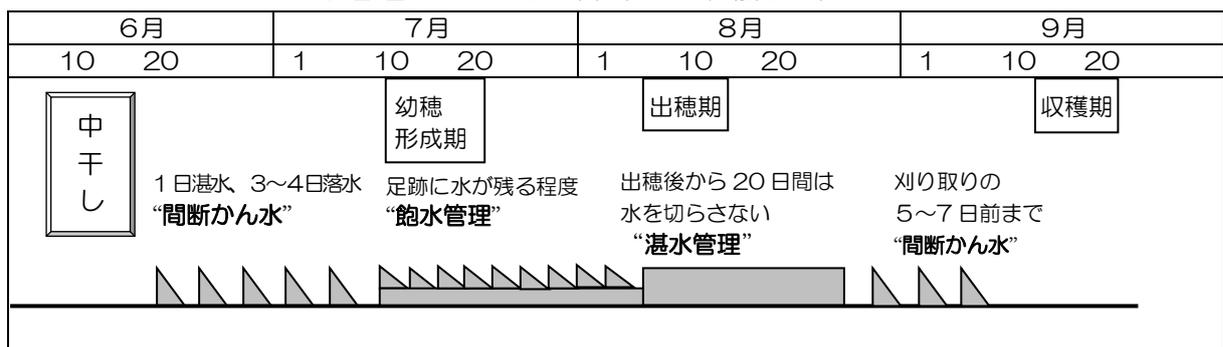
乾きにくいほ場、葉色が濃いほ場 ⇒ 1日湛水、4~5日落水

(注) 肥料等を追肥する場合は、水をためて追肥した後、落水せず自然減水してから「**間断かん水**」に移ってください。

○幼穂形成期から出穂期まで

「**飽水管理**」を行い、常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力と葉色の急激な低下を防ぎましょう。

水管理のイメージ (中干し~収穫まで)



【連絡先】 JAくろべ営農センター 52-5615 JAくろべ南部営農支援センター 54-5450
 富山県新川農林振興センター 52-0945 北部営農支援センター 54-0040
 東部営農支援センター 65-7220

2. てんたかくの管理

(1) 基肥一発肥料栽培の場合

基本的には追肥は不要ですが、6月下旬に葉色が4.2（粘質土4.0）より淡い場合は、直ちに追肥3号で7kg/10a程度の追肥を行う。

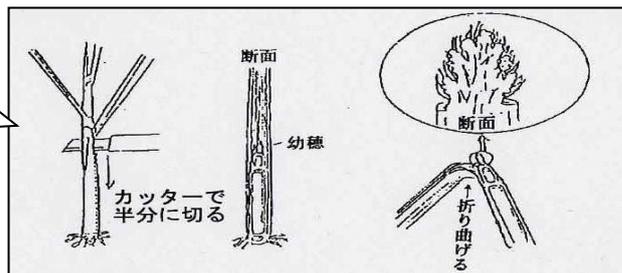
(2) 分施肥系※の場合 ※基肥206号+穂肥

1回目（出穂25日前）			2回目（出穂15日前）	
幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
1~2mm	4.2	追肥3号 10kg/10a	1回目施用から 10日後	LP追肥38号 10~13kg/10a

※1回目の穂肥施用前に葉色が4.0以下となる場合は、3日程度早めに施用して下さい。

【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的な生育の株の最も長い茎を根元から抜き取り、図の要領で確認して下さい。



3. 病害虫防除

(1) カメムシ対策

本年は、気温が高温で推移し、カメムシ類の発生は平年より多い状況です。カメムシ類の生息数を抑えるため、えさとなるイネ科雑草の穂が出る前に小まめに除草を行いましょ。また、大麦跡田なども雑草が繁茂しないようにすき込みを行うなど、適正に管理しましょ。

主要なカメムシ類



アカヒゲホノドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



クモヘリカメシ



地域で一斉に取り組みましょ！

草刈り運動期間 6月28日(金)~7月7日(月) **イネ科雑草(草丈30~40cm)**
一斉草刈り日 6月29日(土)・30日(日)

*草刈り時は保護具の着用や熱中症対策等、作業者の農作業安全に十分注意するとともに、周辺の人や車などにも十分注意して下さい。

*用水付近の草刈りは転落防止に気をつけるとともに、刈り取った草は、用水に流さないで下さい。

(2) 随時防除

畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましょ。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬~7月上旬	トレボン粉剤 DL	3~4kg/10a	畦畔際を重点に防除する。

熱中症予防のため、こまめな水分補給を行い、体調管理に注意しましょ。